



今こそ福祉を 考えよう! 2017

福祉の心・思いやりの心

第10回

埼玉県高齢者福祉研究大会

参加費
無料

平成29年12月20日(水)
ソニックシティ 小ホール ほか
さいたま市大宮区桜木町1-7-5

参加対象

- 高齢者福祉施設・事業所等の職員
- 介護福祉士養成校等の学生及び教育関係者
- 高齢者福祉施設等の利用者
- 本テーマについて関心のある方
(一般県民の来場も大歓迎)

開会式

10:00～10:30 会場：ソニックシティ(ホール棟)小ホール

基調講演

10:30～12:00 会場：ソニックシティ(ホール棟)小ホール

テーマ

「2035年の高齢者福祉・介護サービス従事者の姿」
～未曾有の高齢社会におけるキーパーソンとして～

講師

東洋大学ライフデザイン学部生活支援学科 准教授 **高野 龍昭**氏

【プロフィール】 龍谷大学文学部社会学科社会福祉学専攻修了。社会福祉士、介護支援専門員の資格を持ち、通算19年間の病院・老人保健施設勤務・居宅介護支援事業所での実践経験を経て、2005年から東洋大学ライフデザイン学部の教員。著書に『これならわかる〈スッキリ図解〉介護保険・第2版』などがあり、新聞・テレビ番組などでのコメント・出演も多数。

研究発表 (30題程度)

12:50～13:00 賞状授与(発表者)

13:00～16:30

会場：ソニックシティ(ホール棟)小ホール、国際会議室

ア 県内老人福祉施設等職員による研究・実践発表等
イ 福祉現場の職を目指す養成校の学生による研究発表等
※ア・イ共に各会場に分かれて発表。
※発表会場は、当日配布する資料に掲載します。

介護用品等 紹介・展示コーナー

10:00～16:00

会場：ソニックシティ(ビル棟)4階 市民ホール

開催趣旨

福祉に携わる我々には、社会が複雑化しライフスタイルが多様化する今日の様々な福祉ニーズに対応すべく、人が持つ「福祉の心・思いやりの心」を大切に、また知恵を出し合い、皆が幸せな暮らしができるよう支援していくことが求められています。

本大会は、介護現場で奮闘する職員のモチベーションを高める基調講演、介護現場の職員や今後介護現場で働くことに意欲を持ち日々学んでいる学生に研究発表などを行っていただくことで、高齢者福祉に興味関心を持つ多くの方々人が人と人を支える上で大切な「福祉の心・思いやりの心」について改めて考える機会として開催します。

タイムテーブル

9:30	10:00	10:30	12:00	12:50	13:00	16:00	16:30
受付	開会式	基調講演	休憩	賞状授与	研究発表 第1会場(小ホール)		
					研究発表 第2会場(国際会議室)		
					介護用品等紹介・展示コーナー(市民ホール)		
					同時開催 老人ホーム入園者創作品展(市民ホール)		

参加定員

500名

申込方法

(1) 一般の方 当日直接会場で受付をいたします。

(2) 埼玉県老人福祉施設協議会の会員施設・事業所の方

平成29年12月13日(水)までに、以下の申込フォームに必要事項を入力し、お申込みください。

※申込フォームURL [<https://ws.formzu.net/dist/S36837286/>] は、埼玉県老人福祉施設協議会ホームページに掲載しています。

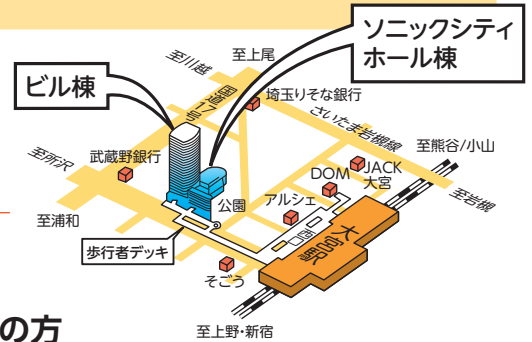
※申込フォームでの申込みが難しい場合には、事務局へご連絡ください。

※申込が完了しますと、ご指定のメールアドレスへ受付完了メールを送信します。

当メールが届かない場合、受付が確定していない場合がありますのでご注意ください。

※参加申込書に記載された個人情報は、本大会の運営管理のみに使用します。

※参加券の送付はございません。



問い合わせ先

一般社団法人埼玉県老人福祉施設協議会 事務局

〒330-0075 さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65

TEL 048-762-3934 FAX 048-762-3964

埼玉県老人福祉施設協議会

検索

<http://saitama-rsk.or.jp/>

大会全般に関する
問い合わせ

主催

一般社団法人埼玉県老人福祉施設協議会
社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会

共催

日本介護福祉士養成施設協会埼玉県介護福祉士養成校連絡協議会

後援

埼玉県、さいたま市、埼玉県社会福祉法人経営者協議会、埼玉県介護老人保健施設協会、埼玉県在宅福祉事業者連絡協議会、埼玉県認知症グループホーム・小規模多機能協議会、埼玉県社会福祉士会、埼玉県介護福祉士会、埼玉県介護支援専門員協会、認知症のひとと家族の会埼玉県支部、埼玉の老人福祉を考える会、さいたま市社会福祉協議会、さいたま市老人福祉施設協議会、埼玉県高等学校福祉教育研究会

協力

朝日新聞さいたま総局、共同通信社さいたま支局、埼玉新聞社、産経新聞社さいたま総局、時事通信社さいたま支局、東京新聞さいたま支局、毎日新聞さいたま支局、読売新聞東京本社さいたま支局、日本経済新聞社さいたま支局、テレ玉、NHKさいたま放送局、FM NACK5